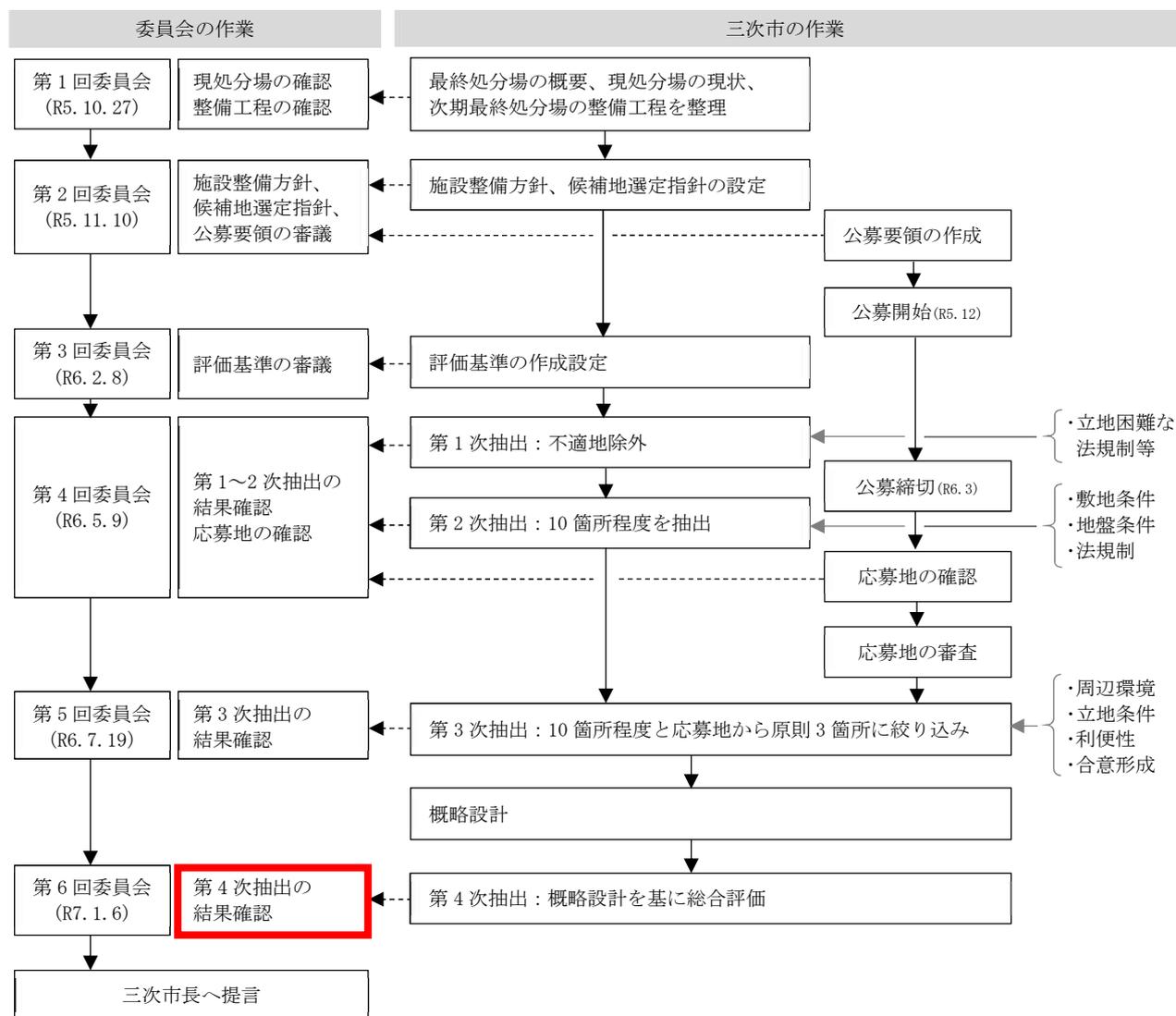


## 第 6 回 選定委員会資料

## 第 4 次抽出について

第 6 回委員会では、図 1 に示すとおり、第 4 次抽出の結果報告を行います。



第 6 回委員会での確認事項

図 1 候補地の評価手順

第 4 次抽出では、第 1～3 次抽出により抽出された候補地 No. 38、39、87、応募地栗屋地区の 4 箇所にて概略設計を行い、敷地造成に係る概算費用の算出を行いました。そして、概算費用と第 1～3 次抽出の結果を踏まえた総合評価を行いました。

各工程での詳細な手順を、次項以降に示します。

(1) 概略設計

候補地 No. 38、39、87、応募地栗屋地区の4箇所に最終処分場を設置した場合の概略平面図を次頁に示します。

各候補地での最終処分場整備に係る概算費用は、以下のとおりであり、候補地 No. 87 が最も安価となります。

表 1 概算費用の結果比較

項目	No. 38	No. 39	No. 87	応募地 栗屋地区
敷地造成費(A)	11.16億円	14.66億円	10.93億円	15.41億円
うち市負担額(A')	4.92億円	6.18億円	4.91億円	6.82億円
浸出水処理施設整備費(B)	11.53億円	12.14億円	13.14億円	14.95億円
うち市負担額(B')	5.17億円	5.44億円	5.89億円	6.70億円
工事費計(A+B)	22.69億円	26.80億円	24.07億円	30.36億円
うち市負担額(A'+B')	10.09億円	11.62億円	10.80億円	13.52億円
運搬経費 15年分(C)	3.66億円	3.13億円	0.64億円	3.00億円
合計(A+B+C)	26.35億円	29.93億円	24.71億円	33.36億円
うち市負担額(A'+B'+C)	13.75億円	14.75億円	11.44億円	16.52億円

※税込み

※敷地造成費の内訳は別紙1参照。

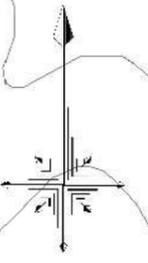
※浸出水処理施設整備費は、各候補地における最終処分場の埋立面積に応じて設定。別紙2参照。

※運搬経費は別紙3参照。

※現時点での想定額であるため、今後の設計進捗や物価変動等により、費用を変更する場合がある。

計画平面図  
NO. 38

S=1:1,000 (A1)  
S=1:2,000 (A3)

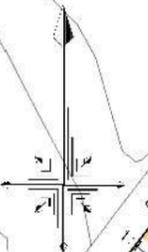


計画平面図

NO. 39

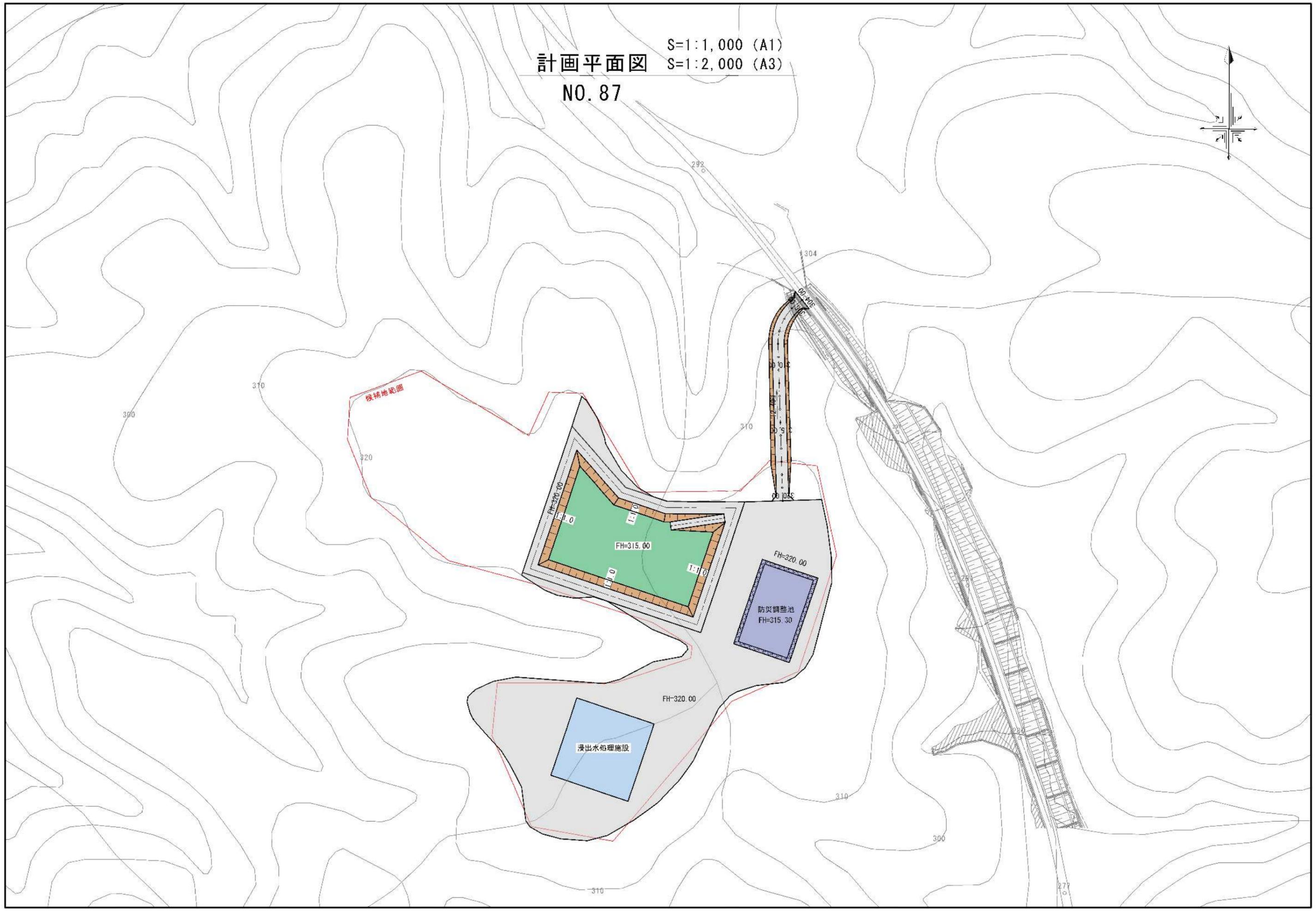
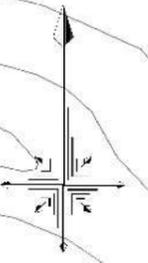
S=1:1,000 (A1)

S=1:2,000 (A3)



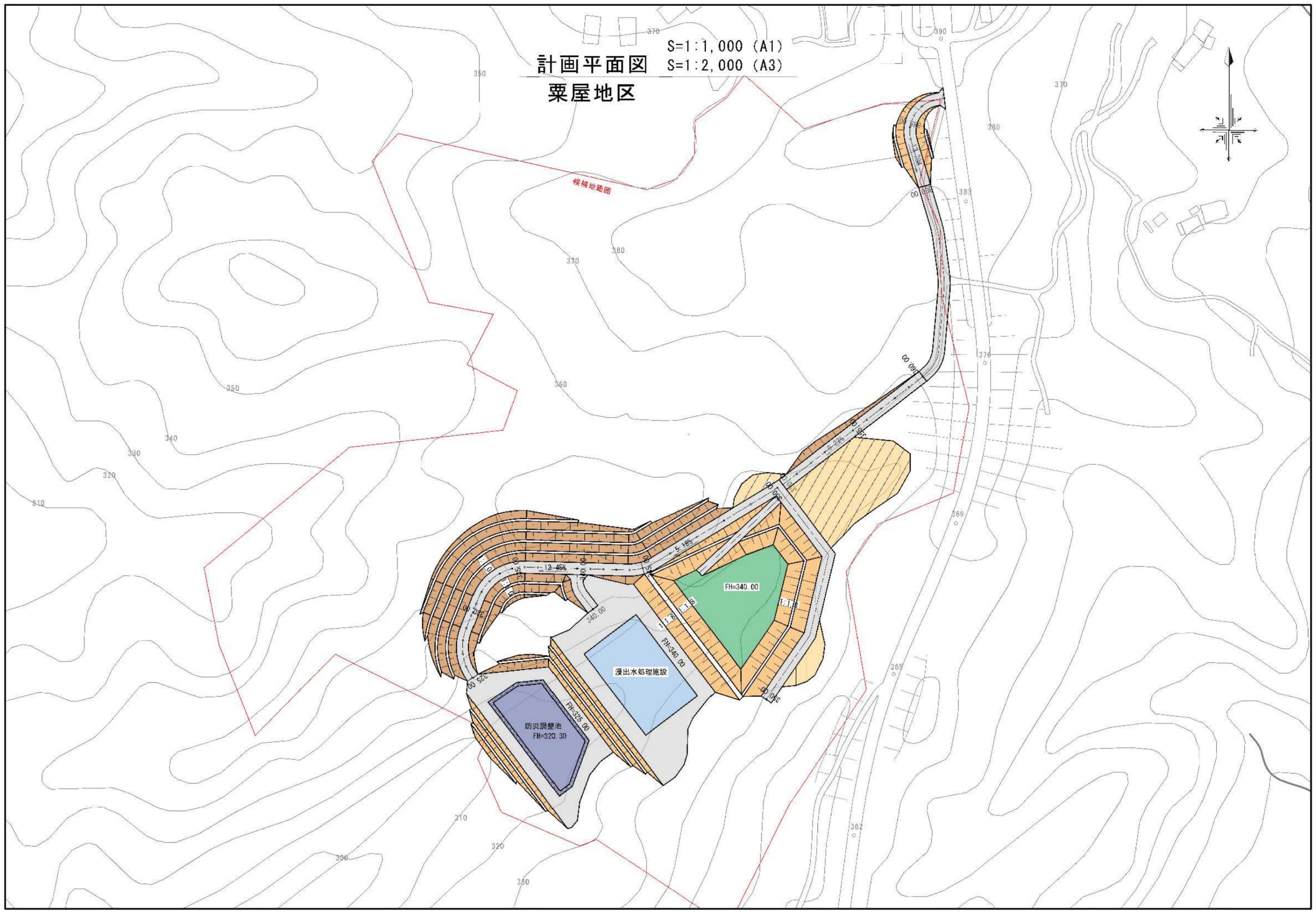
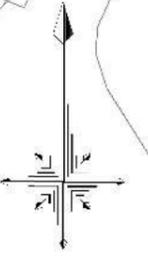
計画平面図  
NO. 87

S=1:1,000 (A1)  
S=1:2,000 (A3)



計画平面図  
栗屋地区

S=1:1,000 (A1)  
S=1:2,000 (A3)



(2) 総合評価

ア 検討結果に基づく考察

候補地 No. 38、39、87、応募地栗屋地区の 4 箇所について、第 1～3 次抽出の結果と概算費用、概略設計を踏まえた敷地から考察すると、以下のとおりとなります。

候補地として有力な箇所は、概算費用が最も低い「候補地 No. 87」、もしくは、第 1～3 次抽出での得点が高く、敷地に余裕のある「応募地栗屋地区」と考えられます。

表 2 検討結果に基づく考察

項目	No. 38	No. 39	No. 87	応募地栗屋地区
第 1～3 次抽出の結果	○ 57.6 点 ・ やや得点が高い。	△ 53.0 点 ・ 最も得点が低い。	○ 56.2 点 ・ やや得点が低い。	◎ 72.4 点 ・ 最も得点が高い。 ・ 合意形成による配点の影響が大きい。
	○ 26.35 億円 (13.75 億円) ・ 概算費用が他候補地と比べてやや低い。	△ 29.93 億円 (14.75 億円) ・ 概算費用が他候補地と比べてやや高い。	◎ 24.71 億円 (11.44 億円) ・ 概算費用が最も低い	△ 33.36 億円 (16.52 億円) ・ 概算費用が最も高い。
敷地・拡張性	○ ・ 同敷地内に最終処分場をもう 1 箇所設置可能であるが狭小である。	△ ・ 敷地が狭く、有効活用が限られる。よって、最終処分場の追加設置はできない。	○ ・ 同敷地内に最終処分場をもう 1 箇所設置可能であるが狭小である。	◎ ・ 敷地が広く、同敷地内に最終処分場を余裕を持ってもう 1 箇所設置可能である。

※概算費用の（ ）は市負担額

※◎：最も優れている、○：やや優れている、△：劣っている

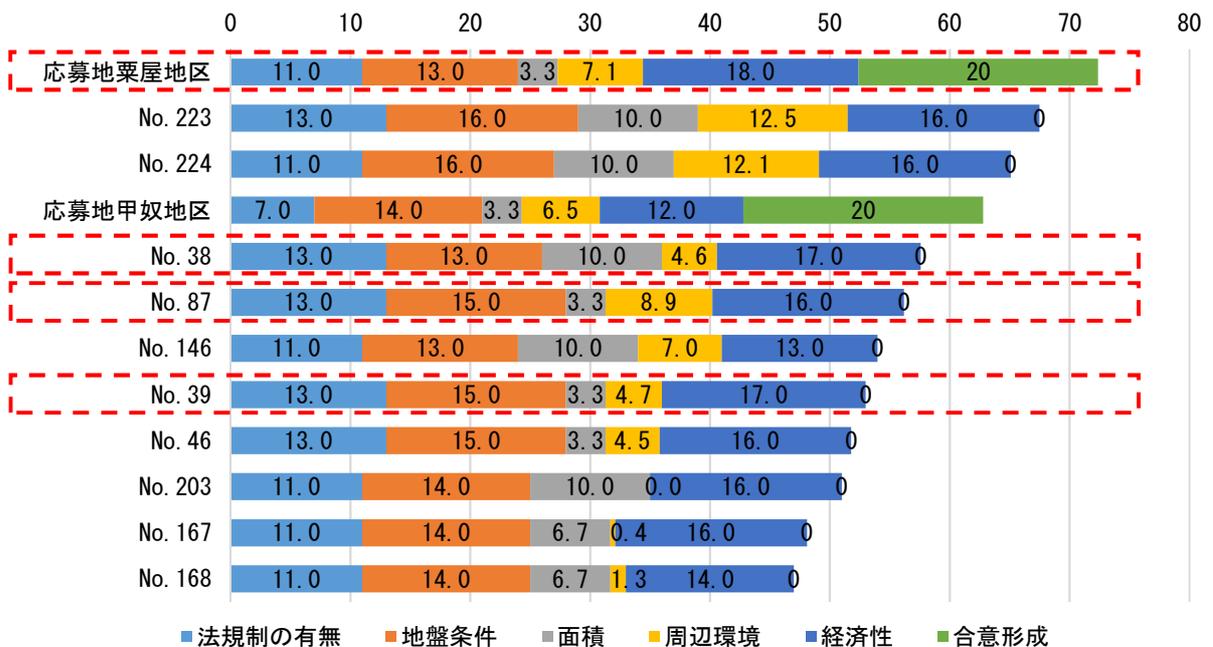


図 2 第 1～3 次抽出の結果 (第 5 回委員会資料より再掲)

## イ 本市の最終処分場を取り巻く状況

最終処分場は、市民にとって必要不可欠な施設ですが、廃棄物を扱う施設であることから、市民の合意を得た上で場所を決めていく必要があります。

また、現在の最終処分場は、残余容量が少なくなっており、次期最終処分場が竣工する時期（令和14年度）まで維持するには、4年間も、焼却灰を外部に搬出する必要が既に出てきています。

### 焼却灰の外部搬出について

搬出先 広島県環境保全公社 広島港出島地区廃棄物等埋立処分場（予定）

搬出量 年間 約 960 t（≒740 m<sup>3</sup>）

費用 年間 約 15,000 千円（処分費、輸送費 含む）



図 3 現在の最終処分場における残余容量推移

## ウ 候補地 No. 87 と応募地栗屋地区の比較

「候補地 No. 87」は、概算費用が安価であり、同敷地内に最終処分場を設置可能な面積を有しています。ただし、合意形成が得られていないため、地元交渉等に期間を要してしまった時には、焼却灰の外部搬出費が更に掛かってしまう恐れがあります。

一方、「応募地栗屋地区」は、合意形成が進んでいるため、速やかに事業を開始できることが想定されます。また、応募地自体の敷地が広く、最終処分場を複数設置できる余裕があることから、将来的な敷地の有効活用が可能です。ただし、概算費用が多く必要です。

## エ 委員への諮問

以上を踏まえ、候補地を以下の2箇所に絞りました。

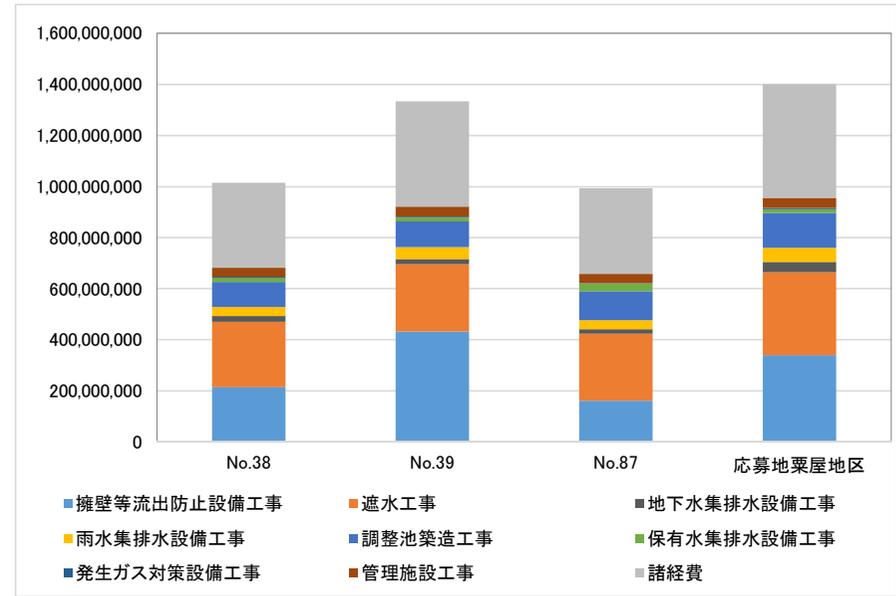
候補地 No. 87 概算費用が抑えられている  
 応募地栗屋地区 敷地が広く有効活用が可能、合意形成が進んでいる

つきましては、候補地の順位づけについて、委員の皆様にご意見を伺いたいと思います。ご検討の程、よろしくお願い致します。

以上

敷地造成費 概算費用

		No.38	No.39	No.87	応募地栗屋地区
擁壁等流出防止設備工事	円	215,000,000	432,000,000	161,000,000	339,000,000
遮水工事	円	256,000,000	264,000,000	263,000,000	326,000,000
地下水集排水設備工事	円	22,000,000	20,000,000	18,000,000	40,000,000
雨水集排水設備工事	円	36,000,000	47,000,000	35,000,000	56,000,000
調整池築造工事	円	98,000,000	101,000,000	113,000,000	135,000,000
保有水集排水設備工事	円	16,000,000	15,000,000	30,000,000	16,000,000
発生ガス対策設備工事	円	4,000,000	3,000,000	2,000,000	4,000,000
管理施設工事	円	35,000,000	40,000,000	36,000,000	40,000,000
直接工事費計(A)	円	682,000,000	922,000,000	658,000,000	956,000,000
うち交付対象(B)	円	558,000,000	798,000,000	525,000,000	777,000,000
諸経費	円	332,360,000	410,587,000	335,303,000	444,379,000
工事価格	円	1,014,360,000	1,332,587,000	993,303,000	1,400,379,000
消費税等相当額	円	101,436,000	133,258,700	99,330,300	140,037,900
工事費	円	1,115,796,000	1,465,845,700	1,092,633,300	1,540,416,900
(端数処理)	億円	11.16	14.66	10.93	15.41
交付対象割合(B/A)	—	81.8%	86.6%	79.8%	81.3%



財源内訳

項目		No.38	No.39	No.87	応募地栗屋地区	割合設定
交付対象	億円	9.13	12.70	8.72	12.53	工事費×交付対象割合
交付金	億円	3.04	4.23	2.91	4.18	交付対象の1/3
起債額	億円	5.48	7.62	5.23	7.52	(交付対象－交付金)×90%
交付税措置	億円	2.74	3.81	2.61	3.76	起債額×50%
市負担	億円	2.74	3.81	2.61	3.76	起債額×50%
一般財源	億円	0.61	0.85	0.58	0.84	(交付対象－交付金)×10%
交付対象外	億円	2.03	1.96	2.21	2.88	工事費－交付対象
起債額	億円	1.52	1.47	1.66	2.16	交付対象外×75%
交付税措置	億円	0.46	0.44	0.50	0.65	起債額×30%
市負担	億円	1.07	1.03	1.16	1.51	起債額×70%
一般財源	億円	0.51	0.49	0.55	0.72	交付対象外×25%
負担額	億円	4.92	6.18	4.91	6.82	市負担＋一般財源

## 浸出水処理施設 条件

項目		No.38	No.39	No.87	応募地 栗屋地区
浸出係数	—	0.61	0.61	0.61	0.61
集積面積	m <sup>2</sup>	4,851	5,302	6,325	7,552
降水量	過去15年の日平均 mm/日	4.1	4.1	4.1	4.1
計画流入量	m <sup>3</sup> /日	12.13	13.26	15.82	18.89
施設規模	m <sup>3</sup> /日	13.0	14.0	16.0	19.0
調整池	m <sup>3</sup>	1,640.0	1,820.0	2,270.0	2,720.0

※浸出係数:廃棄物最終処分場整備の計画・設計・管理要領 全国都市清掃会議

※集積面積:各候補地の埋立面積相当

※計画流入量=浸出係数/1000×集積面積×降水量

※過去15年の降雨量でシミュレーションした結果、処理しきれずに一時的に貯留する必要がある浸出水量

## 浸出水処理施設 整備費

項目		No.38	No.39	No.87	応募地 栗屋地区
浸出水処理施設	千円	1,089,000	1,144,000	1,232,000	1,408,000
浸出水調整池	千円	63,800	69,300	81,400	86,900
合計	千円	1,152,800	1,213,300	1,313,400	1,494,900
(端数処理)	億円	11.53	12.14	13.14	14.95

※他事例での整備費を基に想定

## 財源内訳

項目		No.38	No.39	No.87	応募地 栗屋地区	割合設定
交付対象	億円	9.22	9.71	10.51	11.96	整備費の80%と想定
交付金	億円	3.07	3.24	3.50	3.99	交付対象の1/3
起債額	億円	5.54	5.82	6.31	7.17	(交付対象-交付金)×90%
交付税措置	億円	2.77	2.91	3.15	3.59	起債額×50%
市負担	億円	2.77	2.91	3.15	3.59	起債額×50%
一般財源	億円	0.62	0.65	0.70	0.80	(交付対象-交付金)×10%
交付対象外	億円	2.31	2.43	2.63	2.99	整備費の20%と想定
起債額	億円	1.73	1.82	1.97	2.24	交付対象外×75%
交付税措置	億円	0.52	0.55	0.59	0.67	起債額×30%
市負担	億円	1.21	1.28	1.38	1.57	起債額×70%
一般財源	億円	0.58	0.61	0.66	0.75	交付対象外×25%
負担額	億円	5.17	5.44	5.89	6.70	市負担+一般財源

## 1km当たりの運搬コスト

項目	コスト
三次市内 残渣運搬業	379 円/km/t

## 1t当たりの運搬コスト

項目	往復距離	コスト
No,38	40.20km	15,236 円/t
No.39	34.40km	13,038 円/t
No.87	7.00km	2,653 円/t
応募地栗屋地区	33.00km	12,507 円/t
参考:現処分場	23.20km	8,793 円/t

※1km当たりのコスト×距離

## 運搬コスト

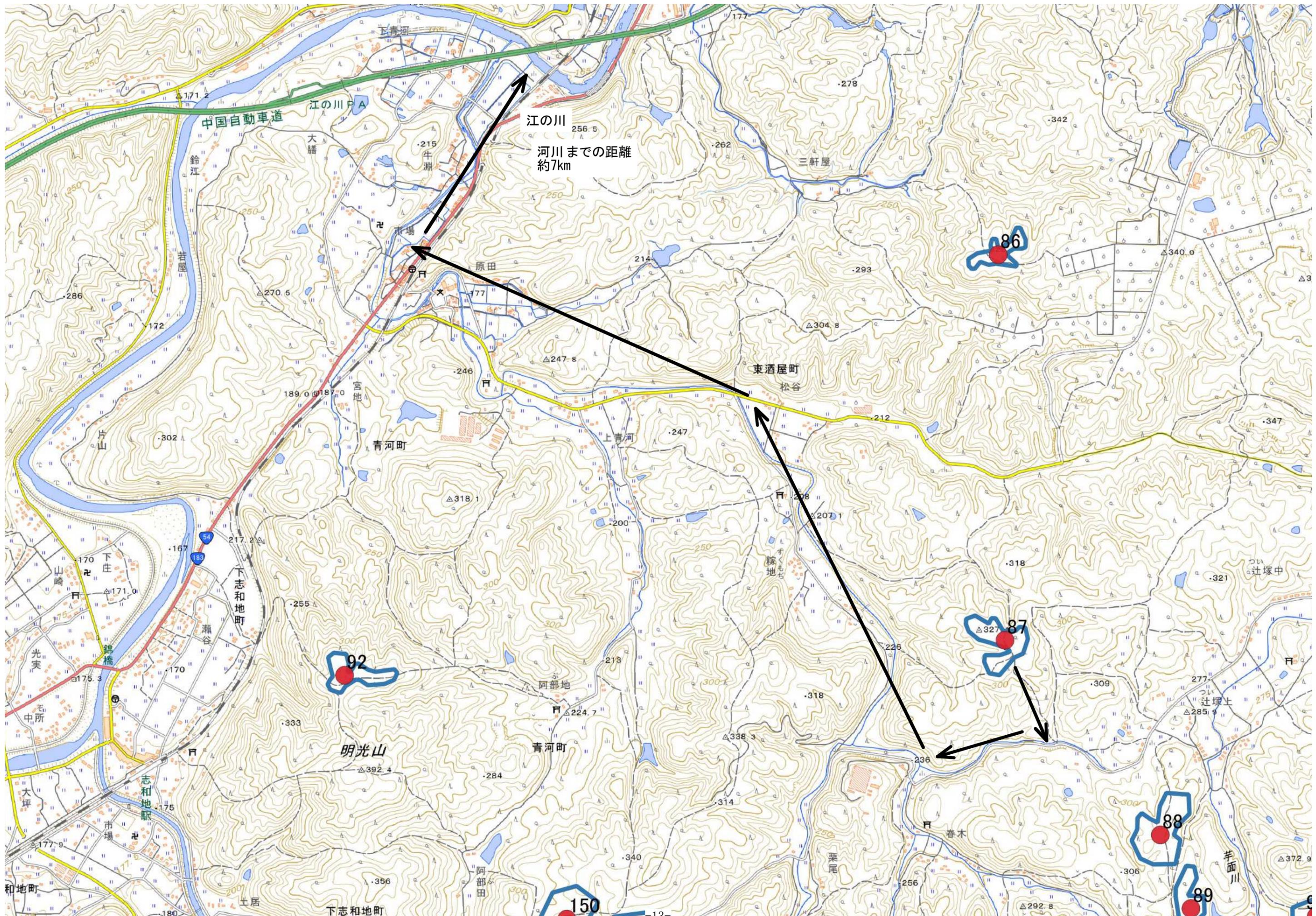
項目	コスト
No,38	24,378 千円/年
No.39	20,861 千円/年
No.87	4,245 千円/年
応募地栗屋地区	20,011 千円/年
参考:現処分場	14,069 千円/年

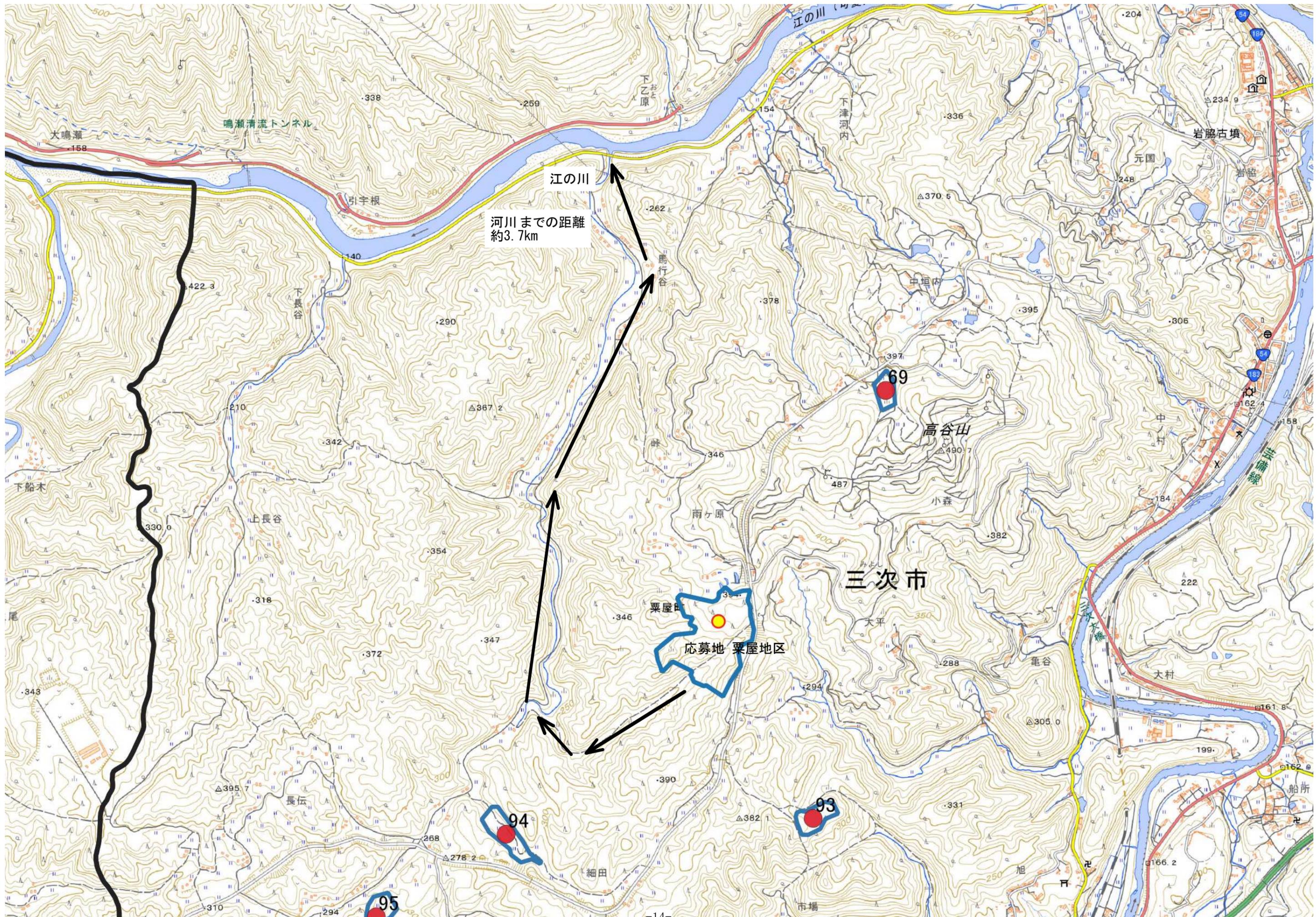
※1t当たりの運搬コスト×1,600t/年

## 15年分の運搬コスト

項目	コスト
No,38	365,670 千円
No.39	312,915 千円
No.87	63,675 千円
応募地栗屋地区	300,165 千円
参考:現処分場	211,035 千円







江の川

河川までの距離  
約3.7km

応募地 栗屋地区

三次市

高谷山

94

93

69

95